

特別養護老人ホーム 清雅園 ICT導入成果報告

介護老人福祉施設の導入事例紹介

施設概要

設立年 昭和42年度

従業員数 66人

利用者数 164人

住所 埼玉県日高市森戸新田99-2



ICT導入前の課題

介護記録を日々記入することが職員の負担になっていた

職員間の情報共有がうまくできていなかった

介護記録の他書類への転記作業に時間がかかっていた

ICT導入の概要

導入前

請求ソフトのみ導入(他は紙で管理)

導入後

ソフトウェア名	ブルーオーシャン
通信環境	全館無線
データ保存様式	クラウド型
利用端末	ノートPC: 7台 (今回導入) タブレット: 15台 (今回導入)

ICT導入スケジュール

令和2年(2020年)

6月 検討開始

7月 ソフトウェアの決定

8月 ソフトウェア会社(ワイズマン)と契約

9月 ソフトウェアの試験導入

令和3年(2021年)

1月 ソフトウェアの本番運用開始

ICT導入・利用状況①

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
直接介護業務	利用者基本台帳	○	ブルーオーシャンシステム	介護職員
	アセスメント	○	ブルーオーシャンシステム	介護職員
	ケアプラン	○	ブルーオーシャンシステム	介護職員
	介護記録	○	ブルーオーシャンシステム	介護職員
	各種チェック表	○	ブルーオーシャンシステム	介護職員
	家族への連絡	○	オンライン面会	介護職員
	モニタリング	○	ブルーオーシャンシステム	施設 ケアマネージャー
	各種会議録	○	施設内ネットワーク	全職員

ICT導入・利用状況②

業務範囲	個別名	ICT化 (○/×)	ソフトウェア名	利用する職員
間接業務	職員間チャット	○	施設内ネットワーク	介護職員
	スケジュール共有	○	ブルーオーシャンシステム	相談員
	掲示板	○	ブルーオーシャンシステム	相談員
	勤務表	×		
	業務マニュアル	△	施設内ネットワーク	介護職員
	事故報告	○	ブルーオーシャンシステム	相談員
財務支援	請求管理	○	さくら	経理担当
	入金管理	○	さくら	経理担当
人事労務管理支援	職員基本台帳	×		
	出退勤管理	○	タイムプロXG	事務職員

これまでの運用(介護記録～生活記録)

介護記録

日付	ケア内容	評価	ケア実施記録	特記事項(体調変化・行事・面会等)
10/5	A	<input type="radio"/>	歩行器を使用して、ふつぎなく歩行されている	
	B	<input type="radio"/>	むせ込み、食べこぼしなく食べられている	
	C	<input type="radio"/>	朝食後、トイレ誘導おこし、パジャマ交換する	
	D	<input type="radio"/>		
	E	<input type="radio"/>		
10/6	A	<input type="radio"/>	歩行器を使用して、ふつぎなく歩行されている	
	B	<input type="radio"/>	むせ込み、食べこぼしなく食べられている	
	C	<input type="radio"/>	朝食後、トイレ誘導 おこし、パジャマ交換する	
	D	<input type="radio"/>		
	E	<input type="radio"/>		
10/7	A	<input type="radio"/>	歩行器を使用して、ふつぎなく歩行されている	
	B	<input type="radio"/>	むせ込み、食べこぼしなく食べられている	
	C	<input type="radio"/>	朝食後、トイレ誘導おこし、パジャマ交換する	
	D	<input type="radio"/>		
	E	<input type="radio"/>		
10/8	A	<input type="radio"/>	歩行器を使用して、ふつぎなく歩行されている	
	B	<input type="radio"/>	むせ込み、食べこぼしなく食べられている	
	C	<input type="radio"/>	朝食後、トイレ誘導おこし、パジャマ交換する	
	D	<input type="radio"/>	更衣、自分でされる	
	E	<input type="radio"/>		

評価: ○出来た ×出来なかった

生活記録

0時30分 起床
起きる。
おむつあり 再度当て直す

1時30分
おむつを押しこめる (パジャマ交換) 行い当て直す
トイレ起す。

2時30分
313のトイレシートを添えこいた。
セーター 尿禁の高 下着交換する
起きる。

2時40分
活 尿あり 右足指ととも足指 痛いとのこと 病院に送布

4時排泄時
尿禁の高 全更衣
便 =

4時30分
尿あり 尿管対応

6時退室者
血圧 133/62 脈52
= 130/74 脈60 体温 36.17
= 97/52 脈58 = 36.1
脈80 = 36.1

手書き
で転記

手書きによる転記作業に多くの時間を割いていた

ICT導入後の運用方法(介護記録～生活記録)

介護記録

3Fフロア

	利用者A	利用者B	利用者C	利用者D
10:00				
11:00				
12:00	[W]昼食 未	[W]昼食 未	[W]昼食 済	[W]昼食 済
13:00				
14:00	排泄 未	排泄 未	排泄 未	排泄 未

自動出力

生活記録

2021/10/14

時刻	利用者名	種別	フォーム	内容	実施
11:00	318 〇〇〇〇	通常記録	連絡・相談	〇月〇日 整形外科受診	—
0:00	317 〇〇〇〇	プラン	支援経過	食事は自力摂取	済
0:00	317 〇〇〇〇	プラン	支援経過	排泄介助時、職員2名で介助する	済
0:00	317 〇〇〇〇	プラン	支援経過	食事は自力摂取	済
0:30	305 〇〇〇〇	通常記録	巡視	巡視:実施	—
					—

介護記録をアプリに入力すると、自動的に生活記録が出力される

ICT導入による成果①

介護記録の作成時間の減少

- 記録作成時間を5割程度削減
- 毎回のケア直後に記録を作成できるようになった。

書類の削減

- 書類のうち、5割以上を電子化
- 事務所に保管する書類を削減

ICT導入による成果②

職員の労働時間の最適化

- 記録作成時間の削減により、利用者のケアに多くの時間を充てることができるようになった。

職員間の情報の共有

- 摂食量等を数値化して入力することにより、職員間で利用者の状態等にかかる認識のズレが少なくなった。
- タブレットを利用することにより、情報共有がよりスムーズになった。

導入時に苦労した点・工夫した点



苦労した点

- ・タブレットに不慣れな職員がシステム導入に抵抗を示した。
- ・業務を行いながら、またコロナ対応で通常より業務負荷がかかる中で操作研修を行った。



工夫した点

- ・ICT委員を各セクションから選び、ICT委員会を開催し、その内容などそれぞれの職員に伝達していった。
- ・職員に導入後の感想や意見を聞き、ICTに対するモチベーションを確認した。

ICT導入後の感想

施設長

- 労働力人口が減っていく中で、増え続ける介護需要に応えるには、介護の現場でのICTを活用した業務効率化が必要だ。
- 多いに効果を発揮できるよう努力を惜しまない。

介護職員

- シニア世代がICTに対して無理なく取り組めるよう、若い世代やICTの得意な職員でフォローしていく体制を構築していった。
- 記録業務にかかる業務時間を短縮して、入居者と接する時間を確保できている。

お問い合わせ先

導入事例に関してお問い合わせいただく場合は、事業所に直接お問い合わせください。

特別養護老人ホーム 清雅園

電話番号 : 042-989-3331

メールアドレス : kamoya@seigaen.com